

# 白山麓における久野ゼミ実習の変遷と今後の展望

～石川県白山ろくテーマパークから白山手取川ジオパークでの活動へ～

## I. 2010～2011年度 過去二年間の白山麓実習



2010年6月 白山麓実習 実施決定  
石川県公園緑地課、白山ろくテーマパークの指定管理者と協議

8月 2010年度 白山麓実習  
・ボランティア、シルバーさんと公園管理のお手伝い  
・公園への「政策提案」を中心に

11月 リサーチフェア 実習時の「政策提案」を再発表 アドバイス集約

2011年3月 『園芸福祉事業』(昨年の政策提案)の試験導入決定

5月 リサーチコンソーシアム ポスターにて『園芸福祉事業』の計画発表

7月 参加者募集 白山市子育て支援課(近隣児童館)の協力を得る

9月 2011年度 白山麓実習  
・『園芸福祉事業「キッズすくすく園芸体験」』の実施  
・昨年同様、公園への「政策提案」  
石川県土木事務所より「白山・手取川が日本ジオパークに認定された。来年の実習では、ジオパーク構想推進のアイデアを求め」とのこと。

11月 リサーチフェア 2011年度実習の報告(口頭部門優秀賞)

2012年3月 白山市ジオパーク推進室と連携  
2012年度実習ではジオパーク構想推進の為の企画を持ち込む



## II. 2012年度 白山麓実習 -白山手取川ジオパーク構想を推進する為、ワークショップを実施する-

### 白山手取川ジオパークとは・・

対象地: 白山市全域

2011年9月 日本ジオパーク認定

『3つのエリア』=

「山と雪」「川と峡谷下写真」「海と扇状地」



### ワークショップについて

#### 『始動！白峰探検隊☆

～ジオパークには宝物がいっぱい～』

- ◎日時 2012年9月8日 土曜 10:00～14:30
- ◎場所 石川県立白山ろく民族資料館
- ◎白山市ジオパーク推進室、地元有志との共催
- ◎実施対象 白山市の小学生(目安:小学校高学年)

時間	内容
10:00～	オリエンテーション ①ワークショップの趣旨説明 ②白山手取川についてのお話 ★ワークショップで学んで欲しい事、感じて欲しい事を伝える。
10:50～	白峰探検「宝物」探し(クイズラリー) ★ジオパークへの理解を深める&チーム内の融和を図る。
12:00～	昼食休憩
12:45～	クイズの結果発表&解説
13:00～	ポスター作製 終わりに
14:10～	①ポスター仕上げ
14:30	②関西学院大学総合政策学部 久野武教授による講評

### その狙い

- ①ジオパーク構想のPR (地元メディアに活動情報をリリース)
- ②地域教育の一環として
- ③子どもの地元への理解と愛情を深める (コミュニティづくり)
- ④実習生と地元住民との絆づくり (継続取組による学生の定期訪問)

### 白峰探検「宝物」探し(クイズラリー)

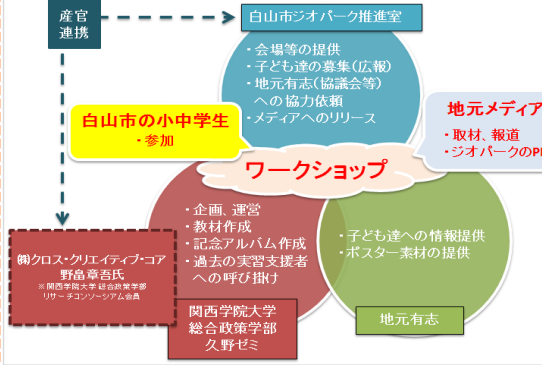
- ◆白峰地域の3つのチェックポイントに行く。
- ◆クイズに答えて「宝物」となるメッセージを見つける。

### ポスター作製

- ◆白山・手取川・恐竜を中心に、数班に分かれて作業。
- ◆纏めると一枚の絵になるようレイアウト。
- ◆子どもは、学生が下書きしておいた絵に

### 本取組の役割分担と相關図

白字は企画者、赤字は招待・誘導のターゲット



## III. 白山麓実習の今後の展望

学生

### 研究ステージとしての魅力

- ☆ジオパーク
- ☆白山国立公園
- ☆白山ろくテーマパーク
- ☆白山麓の歴史・文化
- ☆中山間地域の様々な課題
- ☆関西の学生にとって 合宿地としての適度な距離

白山麓

### 学生が訪れるメリット

- ☆集客効果
- ☆政策提案から受ける刺激
- ☆学生と地元住民との交流 (歓迎ムード一体感)
- ☆学生の企画は「公共空間のマネジメントにおける試行錯誤」
- ☆学生による白山麓の情報発信

### 白山麓実習継続のための選択肢

- ①環境系、都市系の他のゼミにバトンタッチ
- ②環境サークルの活動ソフトの一つに
- ③3回生以下の新メンバーで新団体を結成、活動する

地元自治体や地元企業、市民団体が連携し 学生の実習や合宿のプログラムを用意する

新たな市民活動に

関西圏の大学にPR、学生の呼び込み

(リサーチコンソーシアム会員 野島章吾氏)

「学生が溢れる白山麓」へ



### 白山麓実習の意義

自然公園や都市公園、歴史や文化だけでなく、学生にとっては地域の課題も魅力の一つ

学生の定期的な来訪は、多方面で地域の活性化に寄与する

